

放課後等デイサービス 自己評価表 調査結果(2019)

■ アンケート配付数(対象者数) : 11名 回答数 : 11名 回収率 : 100%

■ アンケート実施 2019年2月

環境・体制整備

		はい		どちらとも いえない		いいえ		無回答	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	91%	1	9%	0	0%	0	0%
②	職員の配置数は適切であるか	10	91%	1	9%	0	0%	0	0%
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか	10	91%	1	9%	0	0%	0	0%

【課題・工夫している点】

- ①
 - i 毎日利用者が違い、時に各利用者が遊びたいスペースが重なることがあるが、ベランダ・パーテーション等も活用し、上手にそれぞれのスペース確保を心がけている。
 - ii 利用者さんの障害特性に合わせて受け入れ人数等を工夫している。
 - iii パーテーションを利用して個別スペースを設けている。
 - iv プレイルームとサブプレイルームに分かれていて利用しやすい。パーテーションでスペースを作っている。
 - v プレイルームとサブプレイルームがあるので、人数が多い時や利用者の性格や行動を考慮し、場所を使い分けている。
- ②
 - i 毎日どの子にも目が行き届くような人員を配置している。
 - ii 見守りする職員がもう少し多い方がいいように思う。
 - iii 日によってもう少し多い方が望ましい。
- ③
 - i 広々していてバリアフリー。利用者が過ごしやすいと思う。働く方も安全に支援できる。

業務改善

		はい		どちらとも いえない		いいえ		無回答	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	91%	1	0%	0	0%	0	0%
⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%

【課題・工夫している点】

- ④ i プラン、実行、チェック、改善が年々常に出来るようになってきている。
 ii 日々の振り返りは幅広い職員で行っているが、目標設定に関してはご本人、保護者の意向を受け、常勤職員で決めている。
- ⑤ i 毎年アンケート調査を実施し、いただいた意見を業務、支援に反映している。
 ii ご意見やご指摘をいただいた点については、見直しをしたり、改善したりしている。
 iii 問題点を会議で指摘している。改善できる点を話し合っている。
- ⑥ i ホームページで公開している。会議でも発表している。
- ⑦ i こういう要望があるんだなどを知ることができ、改善に向けてすぐに動いている。
- ⑧ i すぐに支援に役立てるような講演などを聞けるのは、支援の質を向上させてくれていると思う。
 ii 平日の昼間の研修にはなかなか参加できないので、日曜日等休日の研修を充実させてほしい。
 また、交代などでなるべく参加できる環境作りを今後ほしい。
 iii 随時、研修会の案内を紹介されている。
 iv 適切なテーマの研修や講演会に参加している。
 v 職員会議の中で、利用者の障害特性について学んだり、疑似体験を行った。救急救命講習会に参加。「人権尊重・虐待防止」「衛生管理・感染症予防」については、毎年、勉強会を行っている。

適切な支援提供

		はい		どちらとも いえない		いいえ		無回答	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	73%	2	18%	1	9%	0	0%
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	82%	2	18%	0	0%	0	0%
⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	10	91%	1	9%	0	0%	0	0%
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	82%	2	18%	0	0%	0	0%
⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	10	91%	1	9%	0	0%	0	0%
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%

⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ 合わせて支援を行っているか	10	91%	0	0%	0	0%	1	9%
---	---	----	-----	---	----	---	----	---	----

【課題・工夫している点】

- ⑨
- i 面談を行い職員同志で話し合っている。
 - ii サービス計画時も合議をし、よりニーズや課題の分析を深めている。
- ⑩
- i 年度に一度、状況調査票にご記入いただき、個人記録ファイルにて職員が把握できるようにしている。
 - ii 全職員共通アセスメントツールは使用していないが、日々の支援の中で常に共通理解できるよう会議や支援ノート、口頭などで行動を把握するようにしている。
- ⑪
- i 常勤職員4名が合議の上、支援計画作成をしているが、支援に関わるパート職員の意見も反映していきたい。
 - ii 手伝いを加え、皆で参加できるようなものを立案している。
 - iii 支援者の意見をよく聞いている。
 - iv 活動プログラムという固定的な活動が毎日ある訳ではないが、日々それぞれがやりたい、安心できる遊びの確保と時にこちらが提案。一緒に遊ぶ中で独自のルールや遊びを他の子ども巻き込み楽しんでいる。
- ⑫
- i 個々の特性に合った活動が充実するよう工夫している。
 - ii 好きな遊びを通して、興味・関心が広がるよう支援したり、友だちや職員との関わりが持てるよう配慮している。
- ⑬
- i 放課後は学校と連携を取り、心身の状態を把握した上で、支援を行っている。利用時間の長い休日は、散歩やプール、ピアノコンサートを開催したり、様々な過ごし方の提案をしている。
 - ii 夏はプールを楽しんでいる。
 - iii 長期休みや土曜日などに公園まで散歩、季節ごとの遊び(プール)、様々な設定を工夫している。
 - iv 固定ではないが季節や天候に応じてプール、散歩。常にそれぞれの子どものスモールステップを意識しながら活動している。
- ⑭
- i 個々の特性を細かく考慮し、過ごしやすい環境作りをしている。
- ⑮
- i 支援日誌にて周知事項の確認を行っている。支援内容、役割分担はボードや日誌等による通達方法なので、双方向の打ち合わせに比べて、一方的になりがちである。
 - ii 支援日誌を通して配慮が必要な利用者の支援方法やご家族からの連絡内容など周知している。
 - iii 記録を読んだり、口頭で確認し合うことで配慮すべき点を共有している。
 - iv 非常勤の場合、一人ずつ出勤時間が異なるので、皆でまとめて確認できると良い。支援日誌で確認している。
 - v 毎日必ず支援の注意点や理解しておくことなどを報告しあっている。共通理解は大切だと思う。
 - vi 口頭と支援日誌や親御さんからのメール連絡等も必ず伝え、支援に役立てている。
- ⑯
- i 退勤がバラバラになるので、まとめて行えると良い。支援終了後、個々に報告している。
 - ii ⑮と共通。非常勤の場合は必ず支援開始と終了後にはいるとは限らないが、その日の利用者には配慮しなければならないことは、書面と口頭で確認されている。来年度は全職員が打ち合わせに出席する方向で検討されている。
 - iii どんなことでも振り返りができる空気作りが必要かなと感じる(非常勤職員間だけにならないように)
 - iv 送迎に行き、直接親御さんと話した職員からも道中の様子も含めて話し、支援の振り返りをすると共に、特記事項は追加で記録する。
 - v 打ち合わせという形を必ず取ってはいないが、職員に必ず気づいた点など報告はしている。支援の振り返りもしている。

- ⑰ i 個々の支援計画を意識しながら目標に対しての利用者の様子や職員の支援方法などを具体的に記録している。
- ii ノートに細かく記入している。
- iii 同じ人が立て続けにならないようにしている。他の人の記録を読んで気づかされることも多くある。
- iv 必ず当日に全員の記録は取るようにし、その子の支援にあたる場合は最近の前後の支援記録も再度確認するように心掛けている。
- ⑱ i 関係機関とモニタリングを行っている。
- ⑲ i 子どもの支援とともに保護者支援も大きな役割の一つと考え、日々家庭とも密に連絡を取り、子どもそして保護者に寄り添っていく努力をしている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

		はい		どちらとも いえない		いいえ		無回答	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	91%	1	9%	0	0%	0	0%
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	36%	5	45%	2	18%	0	0%
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	73%	3	27%	0	0%	0	0%
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害者福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供等しているか	10	91%	1	9%	0	0%	0	0%
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	55%	4	36%	1	9%	0	0%
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	10	91%	1	9%	0	0%	0	0%
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や状況や課題について共通理解を持っているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	36%	6	55%	1	9%	0	0%

【課題・工夫している点】

- ⑳ i 細かい報告書を出して、皆で共有している。
- ii 参加の前には、これまでの記録を読み、その報告書も全員が読み、共通理解できている。
- i なるべく情報共有できるよう働きかけているが、時に、正確な情報が与えられないこともある。
- ㉑ 日々、ちょっとしたことでも、こちらから歩み寄る姿勢を持ち、子どもが過ごしやすい環境を整えるように考えている。

ii 保護者に事前確認を必ず行っている。学校に確認することもある。年間、月間予定表をいただき、確認をすることもある。

iii 前日に利用時間の確認をしている。

iv 保護者、学校から連絡を受けている。

v 前日には利用日の送迎時間を確認している。不明な時、緊急時には学校と連絡を取れるようにしている。

②② i ご家族を間に入れての連絡体制となっている。

ii 主治医と直接ではないが、保護者には必ず緊急対応の方法や連携医療先の体制の確認はとっている。

iii 医療ケアが必要な方の受け入れは行っていないが、主治医の指示や服薬状況を家庭から知らせていただいている。医療カンファレンスへ出席している。

iv ご家族経由で治療状況、緊急時の対応をお聞きしている。

v 医療ケアは行っていないが、ケアが必要な方を受け入れる場合は、医師の指示書をいただいたり、連絡先の情報を保護者から得ている。

vi 保護者と連絡を取り合っている。

vii どのようなケア、配慮が必要か、保護者ともよく話し合っている。

②③ i 市の発達支援室、相談支援事業所から就学前の情報で必要なことは共有するようにしている。

ii 児童発達支援からの情報をいただくことはあるが、幼稚園、保育園からの情報は、保護者を通してである。

iii 必要に応じて情報共有を行っている。

iv 引継ぎを行っている。

②④ iii 必要に応じて情報提供をしている。

②⑤ i なるべく偏りがないよう広く研修を受けるように心掛けている。

ii 発達支援室主催の発達障害啓発講演会に参加した。

iii 気になる状況、状態の子がいる時には、支援室に連絡をし、問題解決につなげている。

②⑥ i (同館内の) 保育園児との交流がある。

ii 機会は少ないが、保育園や子ども子育て支援センターの子どもとの交流はピアノコンサートなどで行っている。

iii 子ども会館との交流はない。同じ建物内の保育園児や地域のお祭りに参加するなど、定型発達のお子さんと活動する機会は作っている。

iv ピアノコンサートでは、1階の保育園児や3階の子育て支援センターの親子と交流する機会があった。

v 保育園児と人形劇や映画を観ることや、ピアノ演奏会に参加する機会がある。

vi 保育園児と演奏を聞いたり、地域のお祭りに参加している。

vii 映画会やコンサート等で保育園児との交流を図るよう、出来る範囲で努力している。

②⑦ i 連絡会に代表者が参加している。

②⑧ i 送迎や連絡ノート、モニタリング等を通し、密に行っている。また、電話等での保護者からの相談を受け付けている。

ii 連絡ノートやメールを通して、共通理解が図れるようにしている。

iii 気づいたことをすぐに電話やメールで伝え合っている。

iv ノートに書けない時は、帰宅後に電話連絡をしたり、合って話を聞くなど適切に対応している。

②⑨ i 実際、事業所で子どもを支援している内容や声掛けの方法などを伝えつつ、一緒に支援について考える機会はもっている。

- ii ペアレントトレーニングは行っていないが、特性理解が進んでいない保護者に助言や提案をしたり、障害特性が違うお子さんへの理解が進むように働きかけている。
- iii ペアレントトレーニングは行っていないが、助言やアドバイスなどは行っている。
- iv どこまで支援していくか難しい。
- v 特別に時間を設定して行うことはできないが、日常の送迎時の際や茶話会等で話題にするよう努めている。

保護者への説明責任等

		はい		どちらとも いえない		いいえ		無回答	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	91%	0	0%	1	9%	0	0%
③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
③⑮	個人情報に十分注意しているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	8	73%	2	18%	1	9%	0	0%

【課題・工夫している点】

- ③⑩ i 規定が改定された場合は、都度、同意書を取るようになっている。
- ③⑪ i 常に気持ちに寄り添い、そっと背中を押すような温かい支援をしている。また、そのことを全員に知らせてくれる。
- ii 電話や連絡ノート、モニタリング、日々の送迎時に相談がある場合は受けている。
- ③⑫ i 年に数回の茶話会等を恒例化させている。
- ii 保護者会はないが、茶話会を開催し、保護者同士の交流を図っている。また、保護者の活動に協力するようにしたい。
- iii 年に2～3回、茶話会を開催している。
- iv 茶話会を設けている。
- v 茶話会を開き、保護者同士、保護者と職員のつながりを作っている。
- vi 日頃聞けないこと、知りたいことを共有でき、保護者の方もとても良い表情をしている。
- vii 茶話会を開催し、なるべく様々な年齢層、学年、障害特性がある保護者の方に声掛けをし、情報交換してもらっている。

- ③③ i 迅速に対応していると思う。
 ii 苦情解決窓口を設置している。苦情を受け付けた場合、迅速に対応している。苦情記録も残している。
 iii すぐに職員全体に周知し、また、苦情内容もしっかり記録としても残すようにしている。
- ③④ i 毎月「ひあたり通信」を発行。
 ii 「ひあたり通信」を毎月発行している。
 iii 月に一度会報を出し、旬なニュース、出来事を知らせている。
- ③⑤ i 目につかない所に置いている。
 ii 鍵付き書庫に保管している。メールアドレスの取り扱いに注意している。
 iii 知りたくて仕方がない利用者もいるため、見られない様に配置も工夫している。
- ③⑥ i 障害特性に応じて、絵カードや写真カードを用いている。見通しをつけて、安心して過ごせるように工夫している。
 ii 障害の特性に合わせて、メールや筆談、簡単な手話や詳細な状況説明等、対応を工夫している。
 iii 事実は事実と伝えつつ、どんな事もなるべく肯定的に、また、その保護者によって細心の配慮をしている。
- ③⑦ i 行事に招待したり、町内会に加入し、地域活動に参加するよう努めている。
 ii 町内会に加入し、地域の秋まつりに参加し、地域との交流の場があった。
 iii 町内会に加入し、秋まつりに参加した。
 iv ピアノ演奏、お祭り参加。
 v 特別にイベントを計画して参加してもらうことも出来る範囲内で試みても良いが、利用者と散歩に行き、公園で遊んでいる時に、そこにいる方と会話することも大切な交流と考えられる。常に利用者が社会の一員であるという認識を忘れず支援していくことが重要である。
 vi ピアノコンサートや人形劇などは、保育園児や未就学児と交流もあり、とても良いと思う。
 vii 法人全体ではバザーや文化祭への出店等を行ったり、事業所説明会を他事業所と合同で行ったりはしているが、かなり機会は少ない。

非常時等の対応

		はい		どちらとも いえない		いいえ		無回答	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	91%	1	9%	0	0%	0	0%
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	91%	0	0%	1	9%	0	0%
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	36%	6	55%	1	9%	0	0%

④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	100%	0	0%	0	0%	0	0%
----	----------------------------	----	------	---	----	---	----	---	----

【課題・工夫している点】

- ③⑧
 - i マニュアルを年度初めに配布した。
 - ii ファイルを作り、読み合わせをしている。
 - iii マニュアルも配布されていて、各自で確認できるようにしているところはとてもいいと思う。
 - iv 月々の職員会議等で周知し、確認をしている。
- ③⑨
 - i 同じ建物の3施設合同の避難訓練を3回／年行い、独自の訓練も行っている。
 - ii 年に3回、3施設合同避難訓練。年に1回、広域避難場所まで避難訓練。
 - iii 同じ建物の保育園と合同の避難訓練を行い、非常階段を利用して避難した。
 - iv 色々な場面を想定して訓練を行っている。
 - v 建物全体での訓練もしており、毎回課題を見つけ、話し合っている。
 - vi 同施設合同での訓練にも職員、利用者ともに参加している。
- ④⑩
 - i 職員会議の中で勉強会を行った。
 - ii 年一回以上は必ず行っている。また必要があれば日々の支援でも振り返りを行う。
- ④⑪
 - i 個別支援計画に記載し、個人記録に時間・内容を記録している。
 - ii 必要のある利用者さんについては、時間を記録している。
- ④⑫
 - i 食物の提供は行っていない。アレルギーの有無、内容については、保護者より調査票へご記入いただく。
 - ii 現在、指示書のある利用者はいない。
 - iii 口にする物については各自ご家庭から持参いただくとともに、食事をする場などで他の子の食べ物を口にしないよう配慮している。
- ④⑬
 - i ヒヤリハット報告書を作成し、原因の分析を行う。改善策を話し合い、共有している。
 - ii ヒヤリハットが1つも無いということはないので、今以上に声を出しあい、全員が共有していけるような雰囲気になりたい。
 - iii ヒヤリハット事例が起きた場合は速やかに報告書を作成し、職員全体で周知している。

《今後、改善を図っていく点》

- ⑩ 「子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか」
標準化された調査票があり、年度ごとにご利用者の状況を保護者からも提出いただいているが、全職員での活用が不足していた。今後は事前調査の内容を、支援にあたる職員全員が活用できるよう努めていく。
- ②⑨ 「保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか」
保護者との連携を密にし、利用者の状態像を的確に把握する。保護者の困りごとに対して様々な角度から助言・提案できるように、職員のスキルアップを図る。また、相談しやすい関係を作るよう努めていく。
- ②⑥③⑨ 「放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか」
「事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか」
地域の活動に参加したり、こちらの活動に招待するなど、交流を増やし、常に地域の一員であるという認識を持ちながら事業運営を図っていく。